

校長 あいさつ

～「心通わせ、夢を育み、感謝あふれる児童」をめざして～

こんにちは。

瑞穂町立瑞穂第四小学校 校長 高橋 一広 です。

今年度は新たに47名の新1年生を迎え、全校児童329名（4月1日付）で、令和6年度の教育がスタートしました。

今年度、本校では「誰一人取り残さず、全ての子供が将来への夢と希望を、そして周りの人への感謝の気持ちをもって、自ら学び育つ教育」を実践します。そして、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ってまいります。

本校では今年度より自閉症・情緒障がい特別支援学級「ひかり学級」が開設されました。運動や勉強など、人は誰でも苦手なことがあります。その中で「人に気持ちを伝えられるようになりたい！」「気持ちをコントロールできるようにになりたい！」など、学習以外の「～になりたい！」を頑張るために「ひかり学級」があります。「自立活動」の授業の中で、自分の「好き」や「得意」を伸ばしたり、苦手なことに挑戦したりしていきます。誰でも苦手なことがあることを理解し、受け入れていくことが大切です。「タイ（～たい）のかん（感謝）づめ」を合言葉に、「～たい」という夢を叶えるために支えてくれている人への感謝の気持ちを忘れてはなりません。そして、全児童が得意なことを伸ばし、苦手なことにも挑戦していく中で、「ひかり学級」と「みどり教室」、そして「通常学級」が連携して交流したり一緒に高め合ったりし、希望あふれるよりよい瑞穂四小を築いていきます。

さらに、今年度も教育目標「しっかり考える子」を重点目標として、「仲よくする子」「すすんで取り組む子」の育成を目指し、教育活動の充実を図ります。また、学習に向かう3つの構え「身構え・心構え・物構え」を意識し、生活を豊かにする3つの行動「時を守り、場を清め、礼を正す」指導の徹底を図ります。さらに、

- ① 人と関わり合っていく中で心を通わせ、お互いを思いやること
- ② 「～したい」という夢や希望をもち、それに向かって挑戦していくこと
- ③ 夢の実現のために、全ての人に感謝の気持ちをもつこと

を大切にし、「心通わせ、夢を育み、感謝あふれる児童」を目指します。

今だからこそできることを考え、保護者や地域の皆様と連携しながら、子供たちのために教職員一同全力を尽くしてまいります。

保護者の皆様をはじめ地域の皆様、関係機関の皆様には、本校の教育活動に対しましてご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。